



平成14年10月24日

各位

会社名 株式会社 ノジマ
代表者名 代表取締役社長 野島 廣司
(登録銘柄コード番号 7419)
問合わせ先 取締役
経営企画部長 武邑 邦弘
TEL 042-753-1422

平成15年3月期中間業績予想の修正について

平成14年5月20日付当社「平成14年3月期個別財務諸表の概要」にて発表いたしました平成15年3月期(平成14年4月1日から平成15年3月31日)中間業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 個別業績予想の修正

中間期(平成14年4月1日から平成14年9月30日まで)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	39,300	200	100
今回修正(B)	36,550	170	70
増減額(B-A)	2,750	30	30
増減率	7.0%	15.0%	30.0%

2. 連結業績予想の修正

中間期(平成14年4月1日から平成14年9月30日まで)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	43,400	200	100
今回修正(B)	41,750	220	50
増減額(B-A)	1,650	20	50
増減率	3.8%	10.0%	50.0%

3. 修正理由

- (1) 本年上半期の家電量販店業界はパソコン販売が連続して前年割れとなり、ワールドカップサッカー開催にともなうAVの好調、猛暑による堅調なエアコン需要にもかかわらず、全体としては厳しい状況が続きました。また、業界の価格競争は一層の厳しさを増しており、そうした中で、当社はスクラップアンドビルドによる店舗の効率化等により、収益アップに努めてまいりました。その結果売上の減少にもかかわらず、経常利益は前回予想に較べ若干の下方修正にとどまりました。しかしながら、今後の効率的な店舗展開と、店舗収益力強化を図るうえで店舗のスクラップアンドビルドの一環として、今上半期には大和店等3店舗の閉鎖を実施致しました。それに伴う保証金等解約損や固定資産除却損等の特別損失計上により、当期純利益は当初予想を下回る見込みであり、上記の通り修正いたします。
- (2) 連結業績については、当社個別業績の影響があるもののEコマース事業が売上好調により黒字基調が定着したこと、また通信関連事業子会社が競争激化の中で徒に価格競争を避け、粗利益確保策・経費削減策の奏効による収益改善が著しいことから経常利益は当初予想を確保できる見込みであります。しかしながら、当期純利益は子会社の新規事業立ち上げに伴うコスト増加もあり、当初予想を下回る見込みであるため、上記の通り修正いたします。
- (3) 下半期についてもパソコン市場の回復は引き続き困難と予想されますが、当社の得意とするデジタルAVや、売場の拡充、品揃えの強化により家電部門に注力すると共に、収益力アップに努力することで、通期での売上及び利益の見通しにつきましては個別業績及び連結業績ともに前回予想を修正いたしておりません。

4. ご参考 前期(平成13年4月21日から平成14年3月31日まで)の実績

(1) 個別業績

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期	38,617	1,045	680
通期	76,829	847	679

(2) 連結業績

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
中間期	44,585	1,146	751
通期	90,324	1,137	918

以上

